

令和 4 年度 事業報告書

社会福祉法人 大埴福祉協会

本 部

E-mail oosone-fukushi-honbu@oosone-fukushikyokai.or.jp

HP URL <http://oosone-fukushikyokai.or.jp/>

令和4年度 社会福祉法人 大埴福祉協会

事業報告

《総括》

社会福祉法第24条「経営の原則」の第1項には、「社会福祉法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図り、提供する福祉サービスの質の向上及び事業経営の透明性確保を図らなければならない。」の規定に従い、定期的に理事長及び業務執行理事の業務執行状況の報告をはじめ、会計の処理や重要な契約等について精査し、理事会に報告を行っている。

決算書類及び現況報告書等については、ホームページ等を通じて公開をしている。

また、時流と共に社会福祉法人の位置付けが大きく変化し、社会福祉法の改正により、同第2項に追加として、福祉ニーズへのきめ細かい対応と既存制度で対応できない人々を支援する位置付けとして、公益性と非営利性を備えて貢献する体制を求められている。

新型コロナウイルス感染症拡大後に変容した現況において、ニーズが高まっている。社会福祉法人には、地域に貢献するという使命があり、保育事業だけでなく採算がとれない事業にも取り組んでいかなければならない。子育て支援拠点事業及び利用者支援事業のほか、南国市の他の社会福祉法人と「しゃこう連」を発足。コロナ禍によって一時活動を休止していましたが、令和4年度から地域における公益的な取組について活発に議論を行い連携強化を図り、新たな福祉サービス及び災害時の助援活動についての総括を進めている。

毎会計年度、保有する財産より事業継続に必要な財産を控除した上、社会福祉充実残額を算定することが求められている。

算定の結果、当該年度も社会福祉充実残額が生じているため、地域の福祉ニーズ等を踏まえつつ、社会福祉充実計画を策定し、再投下という形で施設利用者及び地域のために還元しなければならない。現在、吾岡保育園新築移転事業として進行中。

子育て支援課と協力し、地権者との交渉重ね目標に向かって計画を進めている。

令和4年度の取り組みでは、業務省力化の目的である保育管理システム（コドモン及びウェブさくら）を、補助金制度を活用して導入し、令和4年度から本格運用をスタート。

業務省力化だけでなく、園児の姿や保護者との連絡をレスポンス良く取れることが可能となった。

子育て支援拠点事業については、県の警戒レベルが引下げられ、人数の制限も少しずつ緩和されたことで感染予防を徹底しながら、直接来所して頂ける環境を準備。現在では人数制限なく利用できる体制となり、より細やかなサービスを提供できるようになっている。

「南海トラフ地震」等に備えた防災・減災対策については、BCPの精度を向上させるための研修に参加し、昨年度まとめた「事業継続計画Ver4.1」に基づいた避難訓練や検証を定期的に行い、マニュアルを検証し、災害想定、必要な記載事項、備蓄品の量などについて再度検討しバージョンアップを進めている。

今後も、利用者・地域に選ばれる社会福祉法人として、時代に即応した福祉サービスを実施すべく、中長期計画に基づき、保育事業・子育て支援拠点事業・利用者支援事業に取り組めます。

1. 法人の基本方針

(1) 法人全体の理念として

法人理念

「生きるいのち」「輝くいのち」を育むために

法人と職員は、法人理念を実現するために、常に品位を保持し、誠実に職務を遂行し、日々研鑽を積み、最善の努力をするものとする。

保育方針

慈愛と専門性により、仏性を持って生まれた一人ひとりの子どもを、健全に、たくましく、心豊かに生きる力の根を張ってゆく保育を目指します。

(2) 法人が取り組む事業（社会福祉法に基づき定款に明示）

第二種社会福祉事業

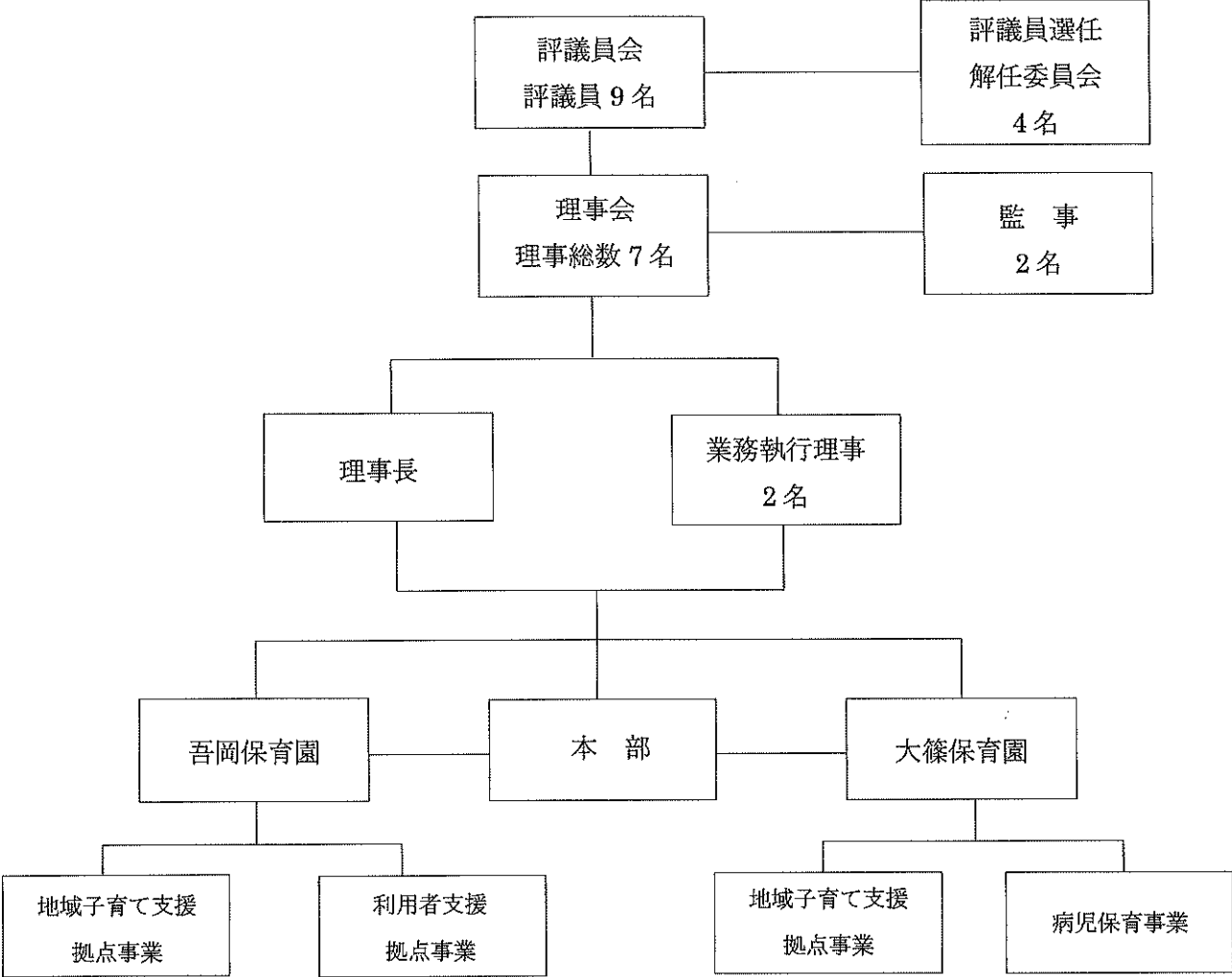
- (イ) 吾岡保育園の設置経営
- (ロ) 大篠保育園の設置経営
- (ハ) 地域子育て支援拠点事業の経営
- (ニ) 病児保育事業
- (ホ) 利用者支援事業

(3) 重点課題

【令和4年度 事業重点課題】

- ① 法令遵守・地域に求められる保育
- ② 社会福祉充実計画への取組（新築移転事業）
- ③ B C P・地域での公益的な取組（災害対策連携）
- ④ 人材確保（S N Sの活用方法）
- ⑤ 子育て支援拠点事業（支援のありかた）

2. 組織体制



※理事・監事の任期は、令和 5 年 6 月開催の定時評議員会まで

3. 理事会

令和 4 年度 理事会

第 1 回理事会	令和 4 年 5 月 27 日	理事総数 (7 名)	欠席 : 0	監事総数 (2 名)	欠席 : 0
場 所	大徳寺 位牌堂	その他	事務 : 尾立・松下 (優)		
決議事項 (議案)					
第 1 号議案 令和 4 年度 第一次補正予算 (案) 承認の件					
第 2 号議案 令和 3 年度 事業報告の承認の件					
第 3 号議案 令和 3 年度 計算書類等の承認の件					
第 4 号議案 社会福祉充実計画変更の承認の件					
第 5 号議案 令和 4 年度 定時評議員会の招集の件					
報告事項					
理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告					
その他 (非正規職員の賞与支給について)					

第2回理事会	令和4年12月28日	理事総数（7名）	欠席：0	監事総数（1名）	欠席：1
場 所	大徳寺 位牌堂	その他	事務：尾立		
決議事項（議案）					
第1号議案 監事欠員補充候補者選任の件					
第2号議案 評議員会（決議省略）の承認の件					
報告事項					
非正規職員の賞与支給について					

第3回理事会	令和5年1月25日	理事総数（7名）	欠席：0	監事総数（2名）	欠席：0
場 所	大徳寺 位牌堂	その他	事務：尾立・松下（優）		
報告事項					
監事（欠員補充）選任の結果について					
理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告					
決議事項（議案）					
第1号議案 令和4年度 第二次補正予算（案）承認の件					
第2号議案 評議員選任・解任委員選任の件					

第4回理事会	令和5年3月30日	理事総数（7名）	欠席：0	監事総数（2名）	欠席：0
場 所	大徳寺 位牌堂	その他	事務：尾立・松下		
決議事項（議案）					
第1号議案 令和4年度 第三次補正予算（案）承認の件					
第2号議案 令和5年度 事業計画（案）の件					
第3号議案 令和5年度 予算（案）の件					
第4号議案 有期契約職員更新の件					
報告事項					
吾岡保育園新築移転事業の進捗について					
その他					

4. 評議員会

定時評議員会・・・・・・・・・・1回

第1回定時評議員会	令和4年6月11日	評議員総数(9名)	欠席:2名
その他の出席者・理事長:佐竹和照 業務執行理事:佐竹玉衣(吾岡園長)・高村由(事務長)・理事:松下千穂(大篠園長)・ 監事:荒川儀恵・佃弘子 事務局:尾立洋一			
場 所:大徳寺 本堂			
報告事項 (1) 令和3年度 事業報告の件 決議事項 第1号議案 令和3年度計算書類等の承認の件 第2号議案 社会福祉充実計画変更の承認の件			

決議省略による臨時評議員会(文書決議)・・・・・・・・・・1回

第2回 評議員会	提案日:令和5年1月6日	決議があったものとみなされた日:令和5年1月16日
第1号議案	「監事の選任(欠員補充)」 (新監事候補:中村恵氏)	

5. 内部監査結果(監事監査)

令和5年5月25日に当法人の監事による、令和4年度 事業報告及び計算書類の監査を実施した。

事業報告及び理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する事実もなく、計算関係書類及び財産目録についても、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正であることが確認された。

(別添:監事監査報告書)

6. 外部監査

令和5年5月24日に岡田税理士事務所による、令和4年度 決算に係る計算書類の監査を実施した。

計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものであると確認された。

(別添:外部監査報告書)

社会福祉充実残額について、社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等に係る控除の有無の判定と、事務処理基準、事業に活用している不動産等、再取得に必要な財産、必要な運転資金の再計算を行い、社会福祉充実残額について、再計算を行った上で、社会福祉充実計画における社会福祉充実残額と突合した結果、一致していることを確認された。

(別添:手続実施結果報告書)

7. 研修・勉強会等

事業継続計画に関する研修

月 日	主 催	研 修 内 容
令和4年 4月27日	社会福祉法人南国市 社会福祉協議会	「災害対策」について 南国市内の他の社会福祉法人との災害対応連携
令和4年 5月16日	高知県社会福祉法人 経営者協議会	令和4年度総会研修会 「ポストコロナの社会福祉法人経営と事業展開」 ①社会福祉法人の経営を取り巻く状況 ②社会福祉法人の事業展開（法人間連携、合併、事業譲渡等） 講師：千葉 正則 氏（独立行政法人福祉医療機構）
令和4年 9月14日	高野山真言宗 高知宗務支所	高野山真言宗 四国地区特別伝導大会 生かぜいのち 大師のみ教えを礎に
令和4年 10月26日	WAYホールディングス 株式会社 (オンライン)	「全国4,000人の園長先生のお悩み・事例大公開シリーズ」 ～SNSを活用した採用が注目されている理由を徹底解説～ ・保育業界の現状 ・現状のままだと今後はどうなる？ ・打開策とは ・他の施設の取り組みと効果事例
令和4年 11月8日	あいおいニッセイ 同和損害保険 株式会社 (オンライン)	事例で学ぶ、「メンタルヘルス不調に伴う休職・復職等の労務トラブルの実態と対処法」 講師：畑山 浩俊 氏（弁護士法人かなめ 代表弁護士） 講師：鈴木 健太 氏（株式会社Dr.健康経営 医師）
令和4年 11月10日 11月11日	高知県社会福祉法人 経営者協議会 (オンライン)	第32回中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナー 「地域共生社会の中核を担うための社会福祉法人の実践を考える」 講師：高知県知事 浜田 省司 氏 「～共感と前進～高知県の挑戦」 講師：隈健吾建築都市設計事務所 主宰 隈 健吾 氏 「建築の力ー人と自然と技術のつながり」 講師：全国社会福祉法人経営者協議会 会長 磯 彰格 氏 「全国社会福祉法人経営者協議会基調説明」 第1分科会 「人材確保・育成・定着」

		<p>経営基盤の要としての人材確保、育成と定着</p> <p>第2分科会</p> <p>事業継続（災害・感染症対策）</p> <p>事業の継続のための災害支援と感染症対策</p> <p>第3分科会</p> <p>法人経営（生産性向上、デジタル化、社会福祉法人連携推進法人、合併等）</p>
令和4年 11月15日	LINE株式会社 (オンライン)	<p>LINE公式アカウント活用講座</p> <p>「友達登録を増やして企業アピール」</p>
令和5年 2月20日	(オンライン)	南海トラフ地震対策研究会保育所におけるBCP
令和5年 2月22日	損保ジャパン 高知支店セミナー	<p>南海トラフ地震に備えて</p> <p>今こそ企業に求められる「予防管理」「緊急管理」セミナー</p> <p>「企業継続プランを考える」前回から76年目に備えておくこと</p> <p>講師：高知大学防災推進センター客員教授 岡村 眞 氏</p>
令和5年 2月27日	社会福祉法人 経営者協議会 (オンライン)	<p>中国・四国災害支援セミナー</p> <p>「災害福祉支援ネットワーク中央センターについて」</p> <p>全国経営協 総務・広報委員会 災害支援特命チーム</p> <p>チームリーダー 川西 基雄 氏</p> <p>実践報告①「南海学園における防災・感染症対策について」</p> <p>社会福祉法人 来島会</p> <p>障害者支援施設南海学園（高知県） マネージャー 石元 久敬 氏</p> <p>実践報告②「中長期的な視点での災害対応・BCMの推進」</p> <p>社会福祉法人 和香会（高知県） 理事長 植村 芳明 氏</p> <p>講義「BCPの策定と実行性を高めるためのポイント ～BCMの推進に向けて～」</p> <p>社会福祉法人 同愛会（栃木県） 理事長 菊地 月香 氏</p>

8. 主な取組

○ 法令遵守・地域に求められる保育

透明性のある法人運営

内部管理体制を強化するために、役員の役割や権限、責任の範囲等を再確認。

社会福祉法及びその他の関連通知等に従い、定款及び諸規程等について適宜確認を行い、運営状況や現況等についてもホームページ等を活用して広く一般に公開。

地方都市では、人口減少、出生率の低下による保育園の定員割れが起きている中、選ばれる保育施設を目指し保育・教育の質の向上に向けて研修に参加し、地域での信頼を高め、子どもにとってや

さしく快適な環境整備に努めた。

○ 社会福祉充実計画への取組（新築移転事業）吾岡保育園新築移転

令和元年度～令和10年度の社会福祉充実計画の吾岡保育園新築移転事業の対象としている土地については、行政と共に地権者交渉を加速化。地権者の稼業継続のための移転候補地調査をはじめ、複数回交渉を行った。

事業計画については概ねご理解いただいているが、売却についての確約までには至っていない。南国市内の保育園及び保護者の協力を得て、園舎建て替えについて市長交渉を行った。今後も、積極的に行政に働きかけ早期の実現に向けてより一層努力する。

○ B C P・地域での公益的な取組（災害対策連携） 防災・減災対策について

南海トラフ地震に備えた事業継続計画は、「事業継続計画Ver. 4. 1」の検証と見直しを行い、想定される被害や対策本部運営に対応できているか、避難訓練等を通じて検証を行い、適切でない項目や新しい情報等と照らし合わせて、ひとつひとつ改善を進めている。

新しい災害対策についての情報収集のために必要なセミナー等に積極的に参加し、被害想定、事業継続が不可能な場合の想定、今後の計画見直しサイクル等についてB C P策定メンバーにて検討し、Ver. 5」にグレードアップを目標としている。

同時に、災害時の共助体制の構築については南国市の社会福祉協議会を中心に他の社会福祉法人と連携強化（しゃこう連）を進めている。

○ 人材確保への取組（S N Sの活用）

働きの多様性（パートタイム・定年後の高齢者雇用等）が求められる近年、保育士人材の確保のために高齢者の新規雇用及び継続雇用に本年度も積極的に取り組んだ。

定年を迎える職員及び定年を超えて勤務している職員、無期雇用の職員等については、更新希望者と働き方について面談を行い、双方が納得できる働き方を定め更新することとした。

求人については、新卒に対する学校求人が主な手段、ハローワークのみならず、福祉専門の求人サイト、法人ホームページ等にて求人を行った。

吾岡保育園については、新卒での希望者がおらず、今後の求人方法等について課題が残った。

オンラインイベントシステムによる仮想空間での就職フェアへの参加や法人公式LINEアカウントの取得やインスタグラムを開設、ホームページとのリンクを構築し法人のブランディング化を含めた新たな求人と情報発信の取り組みをスタートさせた。

就職フェアについては、初のバーチャルイベントに参加、年度末のため来場者が少なく結果は残せなかったが、参加への流れやシステム利用については勉強できた。今後に生かしていく。

○ I C T化への取組

令和3年度から取り組んでいる保育業務のI C T化は、吾岡保育園においては、システムの基本データの打ち込みや様式の設定を経て、本年度より本格運用をスタートした。

大篠保育園には登降園管理を基本に他の機能を試験的に活用し、令和5年度中の本格運用を目指す。

合わせて、旧機種のパソコンの入替等も概ね完了しWi-Fi環境の整備やセキュリティ対策も万全の状態に整備が完了した。

保護者との連絡もスムーズに行い、日々の保育の様子なども画像を含めた様式で配信することで高評価を得ている。

○ 子育て支援拠点事業(家庭支援のありかた)

子育て家庭の多様なニーズに対して、的確な支援が行き届くためにはどうすればよいのか。

現在行っている子育て支援センターの施策について、地域の子育て(妊婦さんを含む)支援の充実の観点から、さらに機能を高めていくためには、どのようなアクションを起こせばよいのかなど課題を追求し、様々なケースにおいて最大限の支援法について検討。また地域行政と関係機関、専門家と連携、協働し、子育て支援につながるニーズのリサーチと広報活動を積極的に行った。

また、令和5年度は、要支援者、高齢者等に向けた様々な支援が総合的につながる体制づくりを進める。

○ 就業規則・内部規程の改善

非正規職員の職務や能力、勤務時間数を考慮し、規定を満たすものに対して賞与の支給及び時給の見直しを行い、賃金規則の内部規定等を変更。

その他に事項、能力開発機会の平等性についても、社労士の助言を受け適宜見直しを行った。

○ 地域における公益的な取り組み

社会福祉法人の地域における公益的な取り組みの実施義務化に伴い、社会福祉法人大埴福祉協会は、地域福祉ニーズに即した、各施設が積極的に実践している子育て支援や地域活動等、既に実践している地域に向けた取組についてSNS(ホームページ、インスタグラム等)を利用し公開。

子育て支援事業については、警戒レベルに合わせ内容や人数を制限を解除し、来所者を多く受け入れ平常の状態に戻した。

外部での活動についても徐々に制限が減り、他の施設との交流やアフターコロナに向けて、イベントや子育て講座等の計画を検討して令和5年度に向けて準備を進めた。

南国市社会福祉協議会を軸に、南国市内の他の社会福祉法人と連携した「しゃこう連」は、災害時の協力体制や地域での防災や避難者支援等については、感染症の流行も落ち着き、令和4年度は定期的に情報交換や連携の内容について会議を重ね、災害協定を早期に締結できるよう努めています。

保育活動を通じて園児と共に防火パレード等の啓蒙活動を通じて、より良い地域づくりにも努めた。

○ 高野山保育連盟研修会

新型コロナウイルス感染症の流行により延期が続いていた高野山保育連盟研修会を令和4年12月15日・16日の2日間の日程で高知県において開催が実現。

ホスト園として感染対策を徹底し講演会及び施設の視察等もスムーズに行い、充実した研修との高評価を得ることが出来た。